

ビジネスモデルデザイン講座

今のビジネスを見直したい！新しいビジネスを創りたい！そんな思いを実現する

顧客の期待を超える事業を、あなたの手で創り出す

時代や社会構造が劇的に変化の中で、“ビジネスをデザインする力”は、極めて重要な能力となっています。この能力は、**事業全体を俯瞰し、新しい視点や気づきで事業機会を捉え構想し、事業を組み立てるもの**です。事業規模や担当業務の役割・範囲に関わらず、現業の変革や新しい事業を立ち上げる際に、必要不可欠な力だと言えます。ビジネスをデザインするには、ビジネス(収益)モデルの型を覚えるだけでは不十分です。事業を時間単位で計り直したり、対極の視点で捉えたりしながら、その価値を適切に伝達することで、**継続的に収益を生む仕組み・仕掛けを創り出すことが重要です。**



この講座では、“ビジネスをデザインする力”に焦点を当て、数々の経験で培われた実践的な独自の理論と知見に基づくメソッドで学びます。さらには、“絵札(右脳)”“字札(左脳)”を使ったワークショップ・Webディスカッションや、講師からのフィードバックを通じ、習得した知識や手法を知恵に転換させ、実際に業務で使いこなせる様なレベルを目指します。最終的には、**継続性が高く収益が見込めるビジネスをデザインする力**を磨き上げます。

▼受講対象者

- 既存のビジネスをブレークスルーしたい方
- 新しい事業アイデアや企画を構想し、具体的なビジネスモデルを検証・創り上げたい方
- 社内新規事業・起業を目指している方

▼受講期待効果

- 経営・顧客視点でビジネスモデル全体を構想・デザインする能力を養い、事業の本質的な問題とクリアすべき課題が明確になる。
- 実践的な考え方を学び、収益が見込める新しい事業機会の捉え方や事業創造の仕方、既存事業を変革するアプローチ法が身につく。

講座詳細

第1回

世界目線構想力 一価値創造の問題発見マーケティング

収益性の高いビジネスを創り出す上で必要不可欠な様々な考え方や視点を、“観察”、“インタビュー”、“情報収集”、そして“キーワード&コメントカード化”など、幾つかの演習を通じて身につけます。顧客視点でベネフィットやインサイトを捉え、経営視点で収益性が見込めるビジネスを構想する力を習得します。

第2回

アイデア・想像・モデル創造 一価値創造の問題解決マーケティング

価値の本質とは何か？(What)、時間で市場を読み顧客を見るには？(When) など3パターンでの5Wを活用し、アイデアの着想やイメージする思考法と、その勘所について学びます。さらには、そこで出たアイデアを徹底的に検証し、具体的なモデルを創り出す手法(=ソリューションデザイン)についても理解を深めます。

第3回

青い鳥戦略 一メーテルリンクのブルーバードinホーム

個人目線、メディア目線、世界目線で構成される三位一体の視点を身につけ、それぞれの目線ごと導き出される考え方を身につけます。さらには、市場全体を俯瞰しながらも、「時間」「個人」「足元場」「テーマ(興味)」など様々な単位ごとに市場を捉え、自分自身の強みを活かすことができる成長ビジネスを発見します。

第4回

ストック活用による収益モデルデザイン 一持たざる経営

世界には、もうすでに様々な資源があります。この力を活かし組み合わせ、タイムリーに、そしてスピーディーに新しいアイデアやソリューションを事業化・商品化する考え方について、幾つかの事例を交え学びます。成長速度と未来価値(時価総額)が高く、付加価値(高い収益性)創造に役立つ考え方への理解が深まります。

第5回

成功に導くビジネスモデルデザイン 一集合集積創造知

ビジネス成否の鍵となる、アワードマーケティング、ニュースメイキング戦略、スターメイキングプログラムなど“集合集積創造知”の活用について学びます。さらには、具体的なビジネスの仕掛けや仕組み創りについても学び、実現可能なビジネスモデルのデザイン手法について理解を深めます。

第6回

エンディングワークショップ 一私のベンチャープログラム

講義を通じて創り上げたビジネスプランのプレゼンテーションを行い、参加者を交えた対論、評価のフィードバックを通じて、今後の課題と可能性を明確にします。さらには、全員の集合知を結集して、プランのブラッシュアップにつなげます。

講師紹介



担当講師

谷口正和氏

立命館大学大学院教授
株式会社ジャパンライフ
デザインシステムズ
代表取締役社長

■プロフィール

1942年生まれ。京都鴨沂高校を経て武蔵野美術大学造形学部産業デザイン科卒業。生命、生活、人生の在り方を問う「ライフデザイン」を企業理念そのものとし、地球と個人の時代を見据えて常に次なる価値観のニューモデルを提示し続ける。コンセプト・プロデュースから経営コンサルティング、企業戦略立案、地域活性化計画まで幅広く活動。時代を週単位で分析し続けている週刊「KEY CONCEPTS TO THE FUTURE NEXTHINK」はウィークリー情報分析誌の草分け的存在。会員制ワークショップとして、21世紀の新マーケット・パラダイム『文化経済』市場の商業、観光、産業の経営を学ぶ「文化経済研究会」を主宰。その他、日経広告賞審査員、BEST STORE OF THE YEAR・JAPAN SHOP SYSTEM AWARD(店舗システム協会)等の審査委員、日本小売業協会・コーディネーター、日本デザインコンサルタント協会・諮問幹事、日本デザイン機構・理事、日本Webデザイナーズ協会・アドバイザー、京都ブランド研究会・座長、立命館大学大学院経営管理研究科教授を務める。

■参考課題図書



(左)『日本へ帰る 時代』(織研新聞社)
(右)『時間単位の市場戦略』(講談社)

※この講座は、2008年5月～8月に開催したものです。

※1回の講義時間は約3時間となります。